

# 消防団たずね歩き

## 我ら、中央消防団!

### 1 中央消防団とその街

中央消防団は、神戸市の中央区を管轄する10分団170名(定員)から成る消防団です。団長の深井勲を頂点に他4名の本団役員を有し、災害防御・予防活動などを行っています。中央消防団の活動の特色は、神戸市の表玄関を管轄し、多様な活動が求められることです。中央区は神戸空港や新神戸駅などの主要ターミナルを持ち、ビジネスマン、研究者、旅客などの来訪者を数多く受け入れ、さらに市内屈指の歓楽街も抱えています。また、一方、地元にも根ざす親密な街の人々の息吹が溢れる場所でもあります。地理的には街の背山に六甲山が屏風のように存在し、街並は海岸線まで続き、ポートアイランドから遠望したこの街のたたずまいはパノラマを見るようです。この背山には、北野町や布引の滝、ハーブ園から摩耶山などへハイキングコースが続き、市民、観光客の遊山ルートになっています。しかし、その標高は直ぐに700mとなり、冬季、一度山火事が発生すれば氷点下での



消火活動を経験することにもなるのです。

### 2 中央消防団の活動

従来から、地域での各種催しには消防団が警護などに大いに協力・支援してきました。



さらにまちづくり協議会活動や全コミュニティが参加する競技会である中央防災福祉フェアの技術指導をはじめ、日頃の防災福祉コミュニティ活動への支援など地域の自主防災活動には積極的な姿勢で臨んでいます。市民救命士の養成にも団員(救急インストラクター)が講師となっています。また、中央区は神戸市全体のイベントや訓練会場となります。昨年の主なものでは、みなとこうべ海上花火大会、神戸まつりパレード、兵庫県国民保護共同訓練などがありました。これらに参加しつつ、分団ごとに住宅用火災警報器の設置促進を地域で積極的に進めています。このような忙しい消防団ですが、現在でも入団希望者の絶えない状況が続いており、一同嬉しい限りの「我ら、中央消防団!」です。

(中央消防団長 深井 勲)



**地域に根付いた消防団を自覚しています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

